

明治		年号
年月	年月	年月
5年8月	5年8月	○ 学制が発布される。・小学を上等（十才〜十三才）、下等（六才〜九才）に分け、合わせて在学八年とする。・下等小学校を八級に分け、毎級六カ月の修業とする。八級より始めて一級に至る。（四年で修業）
6年5月	6年5月	○ 森田学舎がつくられる。正式には「第一大区区神奈川県管内第七中学区第五十番小学森田学舎」・梅照山願行寺境内に仮の教室をつくり、森公田、森雑色、森中原、杉田の四つの村の児童が通う。
5月	5月	● 初代校長 山田道忠先生・先生男一名、児童数、男子五十二名、女子二十名
8年6月	8年6月	○ 森中原学校となる。正式には「第一大区区神奈川県管内第七中学区第五十番小学森中原学校」・学齢児三百名に対して、就学児童数は五十名前後であった。
9年	9年	○ 公立森中原学校となる。正式には、「第一大区区神奈川県管内第七中学区第五十番小学公立森中原学校」
10年12月	10年12月	○ 新校舎が今の中原自治会館の建っている隣にできる。（木造平屋建て、四十五坪、四教室）
11年	11年	□ 杉田村に大火が起きる。（今の杉田小学校付近より出火して杉田八幡宮まで、四十軒ほど焼ける）
13年	13年	○ 公立森中原学校となる。
17年	17年	□ 森海岸の埋め立てが始まる。（明治二十一年に完成） 屏風浦での埋め立ての最初とされている。
19年3月	19年3月	● 第二代校長 島房吉先生
4月	20年4月	○ 学校の規則が変わる。・尋常科（四年）と高等科（四年）に分け、尋常科四年間までが義務制となる。一カ年で一級となる（一〜八級）
22年4月	22年4月	○ 尋常森中原小学校となる。
25年4月	25年4月	□ 市町村制がとられる。神奈川県久良岐郡屏風浦村大字杉田となる。
29年4月	29年4月	○ 久良岐郡屏風浦村立尋常森中原小学校となる。
8月	29年4月	○ 学校の規則が変わる。・尋常補習科が置かれる。（尋常科を卒業した生徒を引きついで教育をする）
30年5月	30年5月	● 第三代校長 斉藤宇吉先生
33年2月	30年5月	○ 校舎の建て増しをする。（木造平屋建、八坪の小使室）
34年4月	33年2月	○ 校舎の建て増しをする。（木造平屋建、十二坪の教室）・図書館が校友会によって設立される。
37年2月	33年2月	□ 間坂、浜、磯子の海岸の埋め立てが行われる。・このころ、人力車、乗合馬車が、吉野町〜杉田町間を走る。
4月	34年4月	○ 唱歌、裁縫が正科となる。（六月オルガンを購入する）
4月	37年2月	● 第四代校長 浅瀬加門先生
39年1月	37年2月	○ 久良岐郡屏風浦村立尋常高等森中原小学校となる。・高等科（生徒数四十五名）が新しく設置され、補習科が廃止される。
11月	39年1月	○ 国定教科書第一期「イエスシカラカサカザグルマ」・教室不足の為、願行寺の本堂を借りて仮教場とする。・夜間学校を開く。（高等科に通いきれない生徒の為）
	39年1月	○ 農業補習学校を併設する。（明治四十年の生徒数二十四名）
	11月	● 第五代校長 島房吉先生

年号
年月

杉田小学校の移り変わり地域の主な出来事 ○学校 □地域

40年3月 ○最初の高等科の卒業生を出す。(男子七名、女子なし)

○森海岸で海苔の試作が行われる。(屏風浦での海苔つくりの始まり)

○学校の規則が変わる。・義務教育が六カ年に延長される。

●第六代校長 大島七之助先生

○新校舎が道を一本へだてた隣に建てられる。(今の中原自治会館の辺り、コの字型の木造平屋建て、二百三十坪、普通教室七、他に四室、旧校舎の四倍近い広さ)

○国定教科書第二期「ハタタココマハトマメ」

●第七代校長 角田武男先生

○屏風浦村の一部(岡、溝頭、磯子)が、前年に横浜市に編入され、屏風浦村が、森、森中原、杉田の地域に縮小される。

○このころ中原・杉田・栗木方面で花や西洋野菜の栽培が行われる。(イチゴ、レタス、サヤエンドウ、タマネギ、セロリ、キャベツ、ラディッシュ、トマト、バレイシヨ等)

○実業補習学校が併設される。(大正五年に女子部も設置) □「杉田新道」の工事が始まる。

●第八代校長 土屋正造先生

○中原海岸の埋め立てが行われる。(大正八年十二月完成)

○台風によって、杉田海岸の国道が削りとられる。

○国定教科書第三期「ハナハトマメマスミノカサ」

○弘明寺(峯間にバス(相武自動車)が開通する(田中経由)。

○森海岸の埋め立てが行われる(昭和四年一月完成)。・このころ、杉田海岸での海苔つくりが成功する。

○一教室の建て増しをする。

○久良岐郡屏風浦村立森中原尋常高等小学校となる。

○関東大震災のため便所、堀、井戸がこわれる。
二週間臨時休業となり、九月十七日より校庭、東漸寺の境内などで野外学習、二十五日から校舎内での授業再開。

○関東大震災により、杉田新道のトンネルがつぶれる。・屏風浦村の被害は、死者八名、不明者二名、住家の損壊については、全壊が百三戸、大破が百二十九戸。

○杉田新道のつぶれたトンネルを「切り直し」にし、土砂の捨て土で聖天橋から市電の杉田線終点あたりまでの海岸の埋め立てをする。(大正十五年八月完成)

○市電、杉田線が開通する。(芦名橋〜聖天橋間)

○市電、杉田線「杉田」まで延長される。

●第九代校長 小野藤蔵先生

○横浜市中原尋常高等小学校となる。(屏風浦村の横浜市への編入のため)

昭和

大正

明治

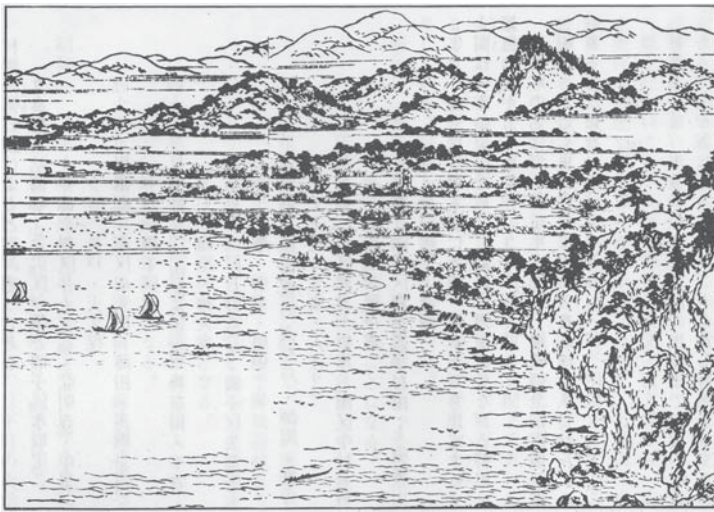
昭和		年号
年月	年月	年月
2年10月	2年10月	杉田小学校の移り変わりと地域の主な出来事 ○ 学校 □ 地域
4年6月	4年6月	□ 屏風浦村の横浜市への編入に伴い、磯子区杉田町、森町、中原町、栗木町、上中里町、氷取沢町、峯町となる。
		● 第十代校長 木村政広先生
		○ 杉田町の現在地に新校舎を建設する。校地二千三百五十七坪。(木造二階建、普通教室十八室、特別教室四室、準備教員室その他八室、講堂)
		〔着工〕昭和三年十月二十七日
		〔竣工〕昭和四年六月十七日
		〔校舎使用開始〕七月二十五日
9月	9月	○ 横浜市杉田尋常高等小学校となる。・学区が、栗木、上中里、氷取沢まで広がる。
11月	11月	○ 校舎新築落成式が行われる。(十二日) 尋常五年生以上の学年は、落成式に参列。(記念品は、手拭い、鉛筆、しおり)落成式に合わせて「開校記念日十一月十二日」の創設と「新しい校章」の制定を決定する。校章の考案者は、佐野武男氏。(当時の杉田小学校教員)
5年4月	5年4月	□ 湘南電鉄(今の京浜急行)の黄金町～浦賀間が開通する。
6年5月	6年5月	□ 杉田駅が正式に開業。
		□ 聖天橋に交番ができる。
5月	5月	● 第十一代校長 寿金平先生
8年4月	8年4月	○ 国定教科書第四期「サイタサイタサクラガサイタ」
8月	8月	□ 市バス、峯～滝頭間が開通する。
10年10月	10年10月	○ 杉田青年学校が開設される。
11年3月	11年3月	□ このころ、大日本飛行機、石川島航空などの工場が完成する。
12年8月	12年8月	● 第十二代校長 柳下壮一先生
		□ 磯子郵便局ができる。
13年10月	13年10月	○ 校旗を新調する。(後援会長原田辰蔵氏より寄贈される)
16年4月	16年4月	○ 横浜市杉田国民学校となる。
5月	5月	○ 国定教科書第五期「アカイアカイアサヒアサヒ」
9月	9月	○ 西校舎増築完成。(木造二階建、四教室)
		● 第十三代校長 横家丑郎先生
16年	16年	□ 杉田に公設市場ができる。(平成五年四月閉鎖)
11月	11月	□ 杉田駅、湘南電鉄から京浜電鉄の駅になる。
18年	18年	○ 防空避難訓練が年九回実施されるようになる。校庭には六十個に及び防空壕(待避所)が掘られる。○このころ「戦時給食」が始まる。(食料事情悪化に伴い青少年の体位向上を考慮して)

昭和		年号
年月	年月	年月
18年	18年	杉田小学校の移り変わりと地域の主な出来事 ○学校 □地域
19年	19年	○ 磯子消防署ができる。 ○ 防火貯水池が、南校舎前に完成する。
3月	3月	● 第十四代校長 板倉外雄先生 ○ 高等科の生徒は、石川島航空に勤労働員される。
8月	8月	○ 縁故疎開、開始される。(八月一日)・集団疎開、出発する。(八月十七日) 児童二百五十二名、教師十二名。胸に「浜磯杉」の名札。疎開先は、中郡西秦野村。宿舎は、松屋、黒木会館(九月に松屋より移る)、泉秋寺、桂林寺、蔵林寺の五カ所。第二次集団疎開、出発する。(十二月四日) 児童二十一名。 ○ 戦時教育所の開設(一・二年生全員、三年以上の残留児童)。本校(杉田北部、杉田中部)、随縁寺(栗木、上中里、氷取沢)、妙法寺(杉田南部)、中原会館(中原町)、林香寺(森町)の五カ所。
20年	20年	○ 集団疎開児童、西秦野村より帰郷する。(二十一日)・本校での授業再開(十一月一日)
21年	21年	● 第十五代校長 森治三郎先生 ○ 学校給食が始まる。(週四回、主に脱脂ミルクの配給、給食費は徴収せず。ミルクのみの給食から「おかず給食」に移ったのが昭和二十二年)
22年	22年	○ 六三制が実施され、義務教育が九年となる。 ○ 横浜市立杉田小学校となる。・社会科、家庭科、自由研究(現在のクラブ活動)が新しく実施される。
23年	23年	○ 杉田小学校 P T A が発足する。 □ 市バス、峯々滝頭間が再開通する。
24年	24年	□ 杉田新道に杉田商店会ができる。・このころ、杉田海岸で海苔づくりが盛んとなる。
25年	25年	○ 完全給食が実施される。(三方物資の小麦粉を使用したパンも支給される) ○ 校歌が制定され、十五日の運動会の折りに、披露される。 〔作詞〕 福田正夫氏(小田原在住の詩人) 〔作曲〕 松井健祐氏(横浜市教育委員会指導主事)
26年	26年	○ 森町に分校を開設する。(横浜市立杉田小学校杉田分校) 四年生八クラス四百七十名を収容。 ● 第十六代校長 瀬戸薫先生
27年	27年	○ 創立八十周年記念式典を行う。
28年	28年	○ 児童交歓会始まる。新潟県古志郡山本村の浦瀬小学校と杉田小学校との交流会。(第三回まで実施される)
29年	29年	○ 児童交歓会始まる。新潟県古志郡山本村の浦瀬小学校と杉田小学校との交流会。(第三回まで実施される)
30年	30年	○ 京急線に特急が設定される。 ○ 火災により校舎焼失。(六日、午後二時二十分ごろ、北側一階の教室付近より出火、講堂・南校舎のみが残る) 講堂を間仕切り、神奈川工業試験所の寮と第一工場(南分教場と命名)、中原自治会館を借りて、一部授業や三部授業を行う。(四十八学級二千六百三十五名)

昭和		年号
年月	年月	年月
31年4月	31年4月	○ 杉田分校が屏風浦小学校として独立する。
5月	5月	○ 新校舎の落成式を行う。(鉄筋三階建、普通教室一十三、管理関係室七。市内では、戦後最初の鉄筋校舎) 〔工事期間〕昭和三十年六月二十七日～昭和三十一年三月三十日
9月	9月	● 第十七代校長 梅野力哉先生
33年4月	33年4月	○ 杉田町に分校を開設する。(横浜市立杉田小学校梅林分校)。
34年	34年	□ 根岸湾の埋め立てが始まる。
35年4月	35年4月	○ 梅林分校が梅林小学校として独立する。
36年9月	36年9月	● 第十八代校長 関谷甚先生
38年4月	38年4月	○ 教科書無償配布となる。(初年度は一年生のみ)
7月	7月	○ 市教育委員会指定を受け、算数科「算問と助言」を研究する。
11月	11月	○ プールが完成する。
39年11月	39年11月	○ 創立九十周年記念式典を行う。
40年12月	40年12月	□ 根岸湾臨海工業地帯での操業が開始される。 □ 国鉄根岸線が開通する。(桜木町～磯子間)
41年	41年	○ 岩石園の設置。(東丹沢、道志川上流にて採取)
42年2月	42年2月	□ 三井杉田団地の入居が始まる。
8月	42年2月	○ 校庭にプレハブ校舎一棟を建てる。(二十八学級、千百四十九名)
43年3月	43年3月	□ 市電、杉田～芦名橋間廃止。
4月	43年3月	□ 市バス、氷取沢～磯子駅間が開通する。
45年3月	45年3月	○ 校庭にプレハブ校舎二棟を建てる。(二十九学級、千百九十八名)
4月	45年3月	□ 京急線に快速特急運転開始。
9月	45年3月	□ 生協杉田団地の入居が始まる。
4月	45年3月	□ 根岸線が洋光台駅まで延長され、新杉田駅の営業が開始される。
9月	4月	○ 校庭にプレハブ校舎一棟を建てる。(三十五学級、千四百七十七名)
9月	9月	● 第十九代校長 吉田岩男先生
48年4月	48年4月	○ 校舎の増築完成。(東校舎、十一教室)、落成式十一月十二日
	48年4月	□ 大崎団地の入居が始まる。
	48年4月	○ 上中里小学校が開校される。(本校より四百数十名の児童が移籍) 栗木の一部、上中里、氷取沢、杉田生協団地の地区が学区より分かれる。

杉田小学校の移り変わりと地域の主な出来事 ○ 学校 □ 地域

平成		昭和																			年号								
																					年月								
3年4月	● 第二十五代校長 山下正雄先生	63年11月	○ 学校教育環境整備工事。(校庭、造形砂場、花壇、体育倉庫、鳥小屋)	68年4月	● 第二十三代校長 足立節雄先生	73年11月	○ 創立百十周年記念式典を行う。	78年10月	○ 校旗を更新する。(市費)	83年9月	● 第二十二代校長 森武久先生	88年11月	○ プールの解体をする。	93年3月	○ 特別教室棟(新館)とプールが完成する。	98年9月	● 第二十一代校長 宮本徳五郎先生	03年11月	○ 文部大臣より優良PTAとして表彰される。	08年6月	○ 市教育委員会より優良PTAとして表彰される。	13年9月	● 第二十四代校長 加藤正敏先生	18年4月	○ 根岸線が大船まで全線開通する。	23年4月	○ 学校	28年4月	○ 地域
2年6月	○ 四年生の「体験学習」始まる。(旭区、大池公園)	64年12月	○ PTA創立四十周年記念式典を行う。	69年8月	○ 校舎外壁塗装工事。	74年11月	○ 給食室改築完成。プレハブ校舎一棟二教室完成。	79年10月	○ 校舎内部塗装工事。	84年3月	○ 給食室改築完成。プレハブ校舎一棟二教室完成。	89年11月	○ 南校舎、講堂の取り壊しをする。	94年3月	○ 市教育委員会より優良PTAとして表彰される。	99年9月	○ 特別教室棟(新館)とプールが完成する。	04年11月	○ 市教育委員会より優良PTAとして表彰される。	09年6月	○ 市教育委員会より優良PTAとして表彰される。	14年9月	○ 特別教室棟(新館)とプールが完成する。	19年4月	○ 根岸線が大船まで全線開通する。	24年4月	○ 学校	29年4月	○ 地域
12月	○ 校舎内改造工事。(理科室、放送室、事務室、障害児学級、各教室の天井、壁面、廊下の天井)	65年7月	○ 学校教育環境整備工事。(校庭、造形砂場、花壇、体育倉庫、鳥小屋)	70年4月	● 第二十三代校長 足立節雄先生	75年11月	○ 創立百十周年記念式典を行う。	80年10月	○ 校旗を更新する。(市費)	85年9月	● 第二十二代校長 森武久先生	90年11月	○ プールの解体をする。	95年3月	○ 特別教室棟(新館)とプールが完成する。	00年9月	● 第二十一代校長 宮本徳五郎先生	05年11月	○ 文部大臣より優良PTAとして表彰される。	10年6月	○ 市教育委員会より優良PTAとして表彰される。	15年9月	● 第二十四代校長 加藤正敏先生	20年4月	○ 根岸線が大船まで全線開通する。	25年4月	○ 学校	30年4月	○ 地域
7月	○ 校舎内改造工事。(理科室、放送室、事務室、障害児学級、各教室の天井、壁面、廊下の天井)	66年4月	○ 学校教育環境整備工事。(校庭、造形砂場、花壇、体育倉庫、鳥小屋)	71年8月	○ 校舎外壁塗装工事。	76年11月	○ 創立百十周年記念式典を行う。	81年10月	○ 校旗を更新する。(市費)	86年9月	● 第二十二代校長 森武久先生	91年11月	○ プールの解体をする。	96年3月	○ 特別教室棟(新館)とプールが完成する。	01年9月	● 第二十一代校長 宮本徳五郎先生	06年11月	○ 文部大臣より優良PTAとして表彰される。	11年6月	○ 市教育委員会より優良PTAとして表彰される。	16年9月	● 第二十四代校長 加藤正敏先生	21年4月	○ 根岸線が大船まで全線開通する。	26年4月	○ 学校	31年4月	○ 地域
9月	○ 京急杉田駅東口再開工事始まる。(平成五年四月完成)	67年3月	○ 学校教育環境整備工事。(校庭、造形砂場、花壇、体育倉庫、鳥小屋)	72年6月	○ 横浜PTA連合協議会より、優良PTAとして表彰される。	77年11月	○ 創立百十周年記念式典を行う。	82年10月	○ 校旗を更新する。(市費)	87年9月	● 第二十二代校長 森武久先生	92年11月	○ プールの解体をする。	97年3月	○ 特別教室棟(新館)とプールが完成する。	02年9月	● 第二十一代校長 宮本徳五郎先生	07年11月	○ 文部大臣より優良PTAとして表彰される。	12年6月	○ 市教育委員会より優良PTAとして表彰される。	17年9月	● 第二十四代校長 加藤正敏先生	22年4月	○ 根岸線が大船まで全線開通する。	27年4月	○ 学校	32年4月	○ 地域
4月	○ 第二十四代校長 加藤正敏先生	68年3月	○ 横浜博覧会が、開港百三十周年と市制百周年を記念して桜木町の「みなとみらい21」地区で開かれる。(十月一日まで)	73年6月	○ 横浜PTA連合協議会より、優良PTAとして表彰される。	78年11月	○ 創立百十周年記念式典を行う。	83年10月	○ 校旗を更新する。(市費)	88年9月	● 第二十二代校長 森武久先生	93年11月	○ プールの解体をする。	98年3月	○ 特別教室棟(新館)とプールが完成する。	03年9月	● 第二十一代校長 宮本徳五郎先生	08年11月	○ 文部大臣より優良PTAとして表彰される。	13年6月	○ 市教育委員会より優良PTAとして表彰される。	18年9月	● 第二十四代校長 加藤正敏先生	23年4月	○ 根岸線が大船まで全線開通する。	28年4月	○ 学校	33年4月	○ 地域
元年3月	○ 第二十四代校長 加藤正敏先生	69年3月	○ 横浜博覧会が、開港百三十周年と市制百周年を記念して桜木町の「みなとみらい21」地区で開かれる。(十月一日まで)	74年6月	○ 横浜PTA連合協議会より、優良PTAとして表彰される。	79年11月	○ 創立百十周年記念式典を行う。	84年10月	○ 校旗を更新する。(市費)	89年9月	● 第二十二代校長 森武久先生	94年11月	○ プールの解体をする。	99年3月	○ 特別教室棟(新館)とプールが完成する。	04年9月	● 第二十一代校長 宮本徳五郎先生	09年11月	○ 文部大臣より優良PTAとして表彰される。	14年6月	○ 市教育委員会より優良PTAとして表彰される。	19年9月	● 第二十四代校長 加藤正敏先生	24年4月	○ 根岸線が大船まで全線開通する。	29年4月	○ 学校	34年4月	○ 地域



江戸時代の服部子遷が錦屏海と名付け詠った屏風浦



左図は、嘉永6年(1853年)来航したペリーが現在の東京湾(根岸界限)を故国のミシシッピ湾同様素晴らしい風景だとし、Mississippi Bayと海図に記載した。右図は、現在の東京湾(杉田～根岸～三溪園付近: Google Map)



明治六年(1873年)、杉田小学校前身の森田学舎が呱呱の声をあげた願行寺。(画像は現在の願行寺)



明治12年生徒心得書



明治初期の授業風景

平成		年号
年月	年月	年月
11月	4年1月	○ 学校五日制試行指定校となる。(二月より月一回、土曜日が休みとなる)
9月	2月	○ 視聴覚室設置。(三階西端の旧第二音楽室、同準備室)
8月	4月	○ 新しい教科「生活科」が実施される。
5月	8月	○ 市民図書が本校図書室に併設される。
4月	5年4月	○ 京急杉田駅東口再開発ビル「プララ」完成。同ビル内の四階に「杉田地区センター」も開設(五月二十五日)される。
	8月	□ 八景島シーパラダイス開園。
		○ 職員室の天井改修と同室への冷暖房装置設置。体育館、新館への渡り廊下の改修工事。(九月)
		○ 運動会の歌制定。
		○ 創立百二十周年記念式典を行う。

杉田小学校の移り変わりとの地域の主な出来事 ○ 学校 □ 地域



明治四十三年（1910年）
高等科卒業式



大正2年（1913年）
梅林（杉田公園）



大正初期（不明）
森中原小学校時代（中原自治会館付近）



大正～昭和初期の東漸寺の周囲
（磯子区役所保存ネガより）



昭和初期 北側校舎
（1930年頃）



昭和4年 東門付近
（1929年）



昭和30年2月6日（1955年）
火災前の校舎



昭和30年2月6日（1955年）
午後2時20分頃一階付近より出火



昭和30年2月7日（1955年）
火災翌日、校舎の焼け跡



昭和31年（1956年）
大火後翌年、新校舎落成式



創立100周年記念誌「この遠き道」
杉田小学校百年の歩み
（380頁記念誌発刊）



杉田劇場



創立100周年記念航空写真



創立110周年記念航空写真

年号	学校のできごと	杉田と横浜のできごと	日本と世界のできごと
平成 6年 (1994)	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人講師による国際理解教室開始 (五月) ● 市PTA連より杉小PTAが表彰される (六月) ● 「生き生きハマツ子デー」地域清掃活動実施 (十二月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜中央図書館全面開館 (四月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本「子どもの権利条約」を批准 ・ 向井千秋さん宇宙へ
平成 7年 (1995)	<ul style="list-style-type: none"> ● 第二十六代校長 住田平吉先生着任 ● 特別活動「学級活動」自主研究発表 (二月) ● 日本PTA全国協議会より、PTA四十五周年記念式典にて感謝状贈呈 (十一月) ● 「あつまれ杉田っ子まつり」開催 (十一月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 杉田商店街が歩行者天国を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阪神淡路大震災マグニチュード7.2 (二月一七日) ・ 地下鉄サリン事件 (三月) ・ 青森県三内丸山遺跡公開 (四月)
平成 8年 (1996)	<ul style="list-style-type: none"> ● 水不足により水泳指導中止。病原性大腸菌O157の感染拡大により水泳指導に影響を及ぼす。(七月) ● 交通安全優良校として県より表彰される。(十一月) ● 磯子区学校保健優良校として表彰される。(十二月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新杉田地域ケアプラザ開所 ・ 新杉田行政サービスコーナーの設置 ・ 上大岡に「京急百貨店」開業 ・ 横浜市歴史博物館開館 ・ 横浜能楽堂開館 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病原性大腸菌O157猛威をふるう ・ アトランタ五輪開催
平成 9年 (1997)	<ul style="list-style-type: none"> ● 六年生修学旅行、二泊三日になり実施 (六月) ● 五年生臨海学校、二泊三日になり実施 (七月) ● 第一回「秋のコンサート」開催 (十月) ● PTA創立五十周年記念式典開催 (十二月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みなとみらいホールこけら落とし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 香港、中国に返還
平成 10年 (1998)	<ul style="list-style-type: none"> ● 第二十七代校長 金子明子先生着任 ● 杉田小学校PTA、日本赤十字社神奈川県支部から献血推進活動継続15年で表彰される (十二月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜国際総合競技場開設 ・ 横浜みなとみらいホール、国際プール開館 ・ 「横浜ベイサイドマリナー」開業 ・ 横浜ベイスターズ、日本シリーズを制する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵便番号7桁になる ・ 長野冬季オリンピック開催 ・ 向井千秋さん、二度目の宇宙へ
平成 11年 (1999)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「総合的な学習の時間」が設けられる (四月) ● 「友和会」の皆様と朝の清掃が始まる (四月) ● 第一回「杉リンピック」開催 (九月) ● 第一回「わくわく杉田ワールド」開催 (十一月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環状3号線 (杉田坪呑く青砥坂) 開通 ・ 国道357号線 (新杉田く新磯子町) 開通 ・ 新杉田駅前地区市街地再開発組合の設立 ・ 磯子区総合庁舎が改装され、業務を開始 ・ よこはま動物園「ズーラシア」が開園 ・ リサイクルコミュニケーションセンターの市内第一号として神奈川区に「エコライフ神奈川」が開館 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピューター2000年問題

<p>平成 12年 (2000)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● PTAクラス委員の「兼任制」を廃止し「専任制」になる(四月) ● PTAクラス委員選出意思表示カードを作成活用(四月) ● 「総合的な学習の時間」「杉田の時間」実施(四月) ● 「はまっ子ふれあいスクール」開設(六月) ● メダカ池(めだか村立「めだか小学校」)の落成式が行われる(二月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新杉田駅前再開発工事開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● 三宅島噴火、全島避難 ● シドニーオリンピック開催
<p>平成 13年 (2001)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 杉リンピックが1学期の五月開催となる(四月) ● チャイムが開門、終鈴時のみになる(四月) ● 杉田つ子音頭(詞、曲、振付)完成 ● 推薦・選挙管理委員会を一本化し指名委員会が発足(十一月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 宅地造成に伴い、杉田貝塚の一部発掘調査 ● 高速湾岸線(杉田〜三溪園)開通 ● 「ワイルド・ブルー・ヨコハマ」閉所 	<ul style="list-style-type: none"> ● イチロー米大リーグで活躍 ● 狂牛病発生 ● アメリカ同時多発テロ勃発(九月十一日)
<p>平成 14年 (2002)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 第二十八代校長 今井由美子先生着任 ● プレハブ、二棟の工事開始(七月) ● 新館、東校舎の一部改修(八月) ● 児童プレハブ棟へ引越し、新館、東校舎内の特別教室使用(十一月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日韓共同開催「サッカーワールドカップ」決勝戦、横浜国際競技場にて開催(六月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ユーロがヨーロッパ12カ国で流通 ● ソルトレークシティ冬季オリンピック開催 ● 公立小中学校で完全学校5日制実施 ● 北朝鮮拉致被害者5名、帰国
<p>平成 15年 (2003)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 東芝グラウンド使用開始・体育(四月) ● 杉リンピック・浜中グラウンドで実施(五月) ● スケート教室(六月・二月) ● 創立百三十周年 	<ul style="list-style-type: none"> ● 杉田小学校の改築に伴い、杉田東漸寺貝塚の本格的な発掘調査 ● 根岸なつかし公園(旧柳下邸)開園 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本郵政公社発足 ● 住民基本台帳ネットワーク本格稼働 ● 十勝沖地震マグニチュード8.0 ● テレビ地上波デジタル放送開始
<p>平成 16年 (2004)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 東芝グラウンド使用・体育(四月) ● 杉リンピック・浜中グラウンドで実施(五月) ● 新築校舎引越(十月) ● 本校舎完成(十一月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● みなとみらい線(横浜〜元町中華街)開通(二月) ● 坪呑公園の源泉地にヘイケボタル幼虫を餌のカワニナとともに放流(六月) ● 坪呑公園で「ホタル観賞会」を実施(七月) ● 新杉田駅前再開発ビル「らびすた新杉田」完成 ● 竣工披露祝賀会を横浜プリンスホテルにて開催(九月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 芥川賞に最年少受賞者、金原ひとみ20歳、綿矢りさ19歳(二月) ● 新潟県中越地震発生マグニチュード6.8(十月) ● 新札三種登場、千円札(野口英世)、五千円札(樋口一葉、一万円札(福沢諭吉)(十一月) ● インドネシア・スマトラ島沖地震。津波被害(十二月)

年号	学校のできごと	杉田と横浜のできごと	日本と世界のできごと
平成 17年 (2005)	<ul style="list-style-type: none"> ● プール校舎完成 (三月) ● プール塗装終了 (六月) ● 新校舎落成式、創立百三十周年記念式典を行う (十一月) ● PTA、神奈川県教育委員会より表彰される (十一月) ● 校庭・学年園等整備完了 (十二月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動ホーム「いぶぎ」開所 (一月) ● 磯子区民文化センター「杉田劇場」開館 (二月) ● 環状二号線屏風ヶ浦バイパス開通 (三月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中部国際空港「セントレア」開港 (二月) ● 愛知万博「愛・地球博」開幕 (三月～九月) ● 「知床」世界遺産登録決定 (七月) ● 茨城県つくば市と秋葉原を結ぶ第三セクター新線「つくばエクスプレス」が開業 (八月) ● 紀宮清子内親王と黒田慶樹氏がお結婚 (十一月)
平成 18年 (2006)	<ul style="list-style-type: none"> ● 第二十九代校長 菱勝行先生着任 ● 消防音楽隊鑑賞 (一月) ● 体育館雨漏り改修工事 (四月) ● 磯子区水泳大会 (会場：杉田小学校) (八月) ● 読書座談会 (会場：杉田小学校) (十月) ● 市体育実技発表会 (十二月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 横浜プリンスホテル閉館 (六月) ● 京浜急行線 全駅にAED設置完了 (十一月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本郵政株式会社が発足 (二月) ● 神戸空港開港 (二月) ● トリノ冬季オリンピック開催 (二月) ● 第1回ワールド・ベースボール・クラシック開幕 (三月) ● 第78回選抜高等学校野球大会で横浜高校が優勝 (四月) ● FIFAワールドカップサッカー ドイツ大会開幕 (六月) ● 秋篠宮文仁親王に男児がお誕生。悠仁親王とご命名 (九月)
平成 19年 (2007)	<ul style="list-style-type: none"> ● 消防音楽隊鑑賞 (二月) ● 狂言ワークショップ参加 (二月) ● 「こんにちは市長です」中田市市長来校 (六月) ● 音楽鑑賞 (サンバ) (十一月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 横浜市内最大級の商業施設「ららぽーと横浜」開業 (三月) ● JR新杉田駅エスカレーター設置 (三月) ● さわの里小学校開校 (上中里小と氷取沢小の合併) (四月) ● 磯子・海の見える公園が開園 (五月) ● 磯子区制八十周年 (十月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第一回東京マラソン開催 (二月) ● 能登半島でマグニチュード6.9地震 (三月) ● 小六と中三を対象に全国学力テスト (四月) ● 「石見銀山遺跡」世界遺産登録 (六月) ● 新潟県中越沖地震マグニチュード6.8で柏崎刈羽原子力発電所が一時全面停止 (七月)
平成 20年 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> ● 江戸糸あやつり人形劇鑑賞 (九月) ● 教室扇風機取付工事 (十月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 横浜市営地下鉄グリーンライン (中山～日吉) 開通 (三月) ● JR新杉田駅ホームに冷暖房付待合室設置 (三月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● メタボリックシンドローム予防を目的とする「特定検診・特定保健指導」を義務化開始 (四月) ● 第三十四回主要国首脳会議が北海道洞爺湖で開催 (七月)

<p>平成 20年 (2008)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 講演「自分の脳は自分で育てる」(二月) ● 開国博Y150見学(六月) ● 能体験ワークショップ(杉田劇場)(九月) ● わくわく杉田ワールド順延(インフルエンザ流行のため十一月十四日に延期) ● ウィンターコンサート順延(インフルエンザ流行のため一月十六日に延期) ● トランペット鼓隊がMDS金管バンドになる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第四回アフリカ開発会議がパシフィコ横浜にて開催(五月) ● 市バスPASMO定期券導入(六月) ● 横浜南部ユースプラザが開所(十一月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 北京オリンピック開幕(八月) ● 小林誠・益川敏英・南部陽一郎の三氏がノーベル物理学賞を受賞(十月) ● リーマン・ブラザーズ経営破綻、世界金融危機の発端(九月) ● 下村脩氏がノーベル化学賞を受賞(十月)
<p>平成 21年 (2009)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 講演「自分の脳は自分で育てる」(二月) ● 開国博Y150見学(六月) ● 能体験ワークショップ(杉田劇場)(九月) ● わくわく杉田ワールド順延(インフルエンザ流行のため十一月十四日に延期) ● ウィンターコンサート順延(インフルエンザ流行のため一月十六日に延期) ● トランペット鼓隊がMDS金管バンドになる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 横浜開港百五十周年 開国博Y150を開催(五月) ● いそご区民活動支援センターが開所(三月) ● 杉田南部自治会館改築竣工(三月) ● 第二十回全国「みどりの愛護」の集いが横浜動物の森公園で開催(四月) ● 京急杉田駅構内にエレベーター二基及びトイレの設置工事を開始(七月) ● 日産自動車が本社機能を横浜みなとみらい21中央地区に移転・集約(八月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本・ウガンダ・オーストリア・トルコ・メキシコが国際連合安全保障理事会の非常任理事国となる(二月) ● バラク・オバマ氏が黒人として初のアメリカ合衆国大統領に就任(一月) ● 浅間山が噴火(二月) ● 今上天皇・皇后陛下が金婚式を迎え、宮中で祝賀行事等挙行(四月) ● 裁判員制度施行(五月) ● 世界保健機構(WHO)が新型インフルエンザでパンデミック(感染症全国的・世界的大流行)を宣言(六月) ● 衆院選で民主党大勝、政権獲得(七月) ● 天皇陛下即位二十周年祝賀式典を内閣府主催国事行事として挙行(十一月)
<p>平成 22年 (2010)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 第三十代校長 岩崎良之先生着任 ● 小中一貫合同授業研修開始(六月・八月) ● APEC日中交流授業(七月) ● 能体験ワークショップ(九月) ● 日中文化交流(食文化理解)(十月) ● わくわく杉田ワールド大工マンによって図書室に小屋を設置(十一月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 磯子区地域子育て支援拠点「いそピヨ」グラウンドオープン(一月) ● 杉田臨海緑地の一部利用開始(四月) ● 相模原市が十九番目の政令指定都市に移行(四月) ● 京急の急行が杉田駅に停車(五月) ● アジア太平洋経済協力会議(APEC)の首脳会議が横浜市で開催される(十一月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良で平城遷都千三百年祭が開幕(四月～十一月) ● バンクーバー冬季オリンピック開催(二月) ● 上海国際博覧会の開幕(五月～十月) ● 小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還(六月) ● 東京国際空港の四番目のD滑走路と新国際ターミナルが供用開始(十月) ● 日本の金星探査機「あかつき」が金星に近い軌道で太陽を周回(十一月)

年号	学校のできごと	杉田と横浜のできごと	日本と世界のできごと
<p>平成 23年 (2011)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童引渡カード導入(四月) ● 特別合唱クラブが「杉田ハーモニーズ」となる ● あゆみ記入の電子化(九月) ● 「新杉田公園子どもフェスタ」スタート(九月) ● 児童用備蓄非常食、ミネラルウォーター購入(十月) ● 登下校システム「安心でんしよぼと」試用開始(十一月) ● 杉田貝塚(縄文時代)の出土展示コーナーが完成(十一月) ● 横浜国際女子マラソン外国人招待選手(3名)学校訪問(十一月) ● わくわく杉田ワールド大エマンによって、西門から体育館裏の花壇設置(十一月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 磯子区のマスコットキャラクター「いそっぴ」を制定(四月) ● 日本国際切手展2011がパシフィコ横浜で開催(七月) ● 「新杉田公園子どもフェスタ」スタート(九月) ● 水道局磯子・金沢地域サービスセンターが磯子三丁目に移転(十月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国のGDP(国民総生産)が日本を抜き、世界第二位となる(一月) ● 児童養護施設に匿名で寄付を行う「タイガーマスク運動」が広がる(一月) ● 東北地方太平洋岸沖を震源とするマグニチュード9の地震が発生「東日本大震災」(三月) ● 福島第一原発事故、国内外に放射性物質が拡散(三月) ● 九州新幹線鹿児島ルートが全線開通(三月) ● 英ウィリアム王子が結婚(四月) ● FIFA女子ワールドカップで日本女子代表が初優勝(七月) ● スペースシャトル「アトランティス」が最終飛行全機退役(七月)
<p>平成 24年 (2012)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「安心でんしよぼと」本格運用開始(四月) ● 給食費会計変更(四月) ● 「おやじの会」発足、美化運動から(五月) ● トイレの雨水利用中止に伴う屋上の高架水槽の工事(八月) ● エアコン設置工事了(九月) ● 創立百四十周年記念実行委員会発足、顧問就任式開催(九月) ● 緊急用トイレ汚水溝設置工事(運動場鉄棒裏)(九月) ● PTA防災グッズアルミシート購入(九月) ● 地域交流室設置(十月) ● 土曜活用開始(十月) ● わくわく杉田ワールド大エマンで、ひょうたん池に百四十周年記念橋がかかる(十一月) ● アフリカ開発会議に伴う「一校一国運動」としてガボン共和国大使と交流(十一月) ● ビーコルセアーズによるバスケットボール指導(十二月) ● 創立百四十周年プレ企画ウィンターコンサート開催(十二月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロ野球「横浜 DeNAベイスターズ」が新生チームとして始動(三月) ● 中高一貫校の横浜市立南高等学校附属中学校が開校(四月) ● 「原鉄道模型博物館」が鉄道発祥の地横浜のみなとみらい21地区に開館(七月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中央防波堤外側埋立地と江東区若洲をつなぐ東京ゲートブリッジが開通した(二月) ● 国勢調査局の推計で世界人口が七十億人を突破(三月) ● 日本を含む北太平洋上を中心に金環日食を観測(五月) ● 東京スカイツリー開業(五月) ● ロンドンオリンピック開催(七月) ● 吉田沙保里選手がレスリング世界選手権で優勝し世界初の十三連覇達成(九月) ● 東京丸の内駅舎復元工事が竣工し、全面開業(十月) ● 山中伸弥氏がノーベル生理学・医学賞を受賞(十月) ● 衆院選で自民党大勝。政権復帰(十二月)

●旧校舎と旧プール棟



●旧校舎お別れ会と解体風景



●新校舎建設風景と発掘された貝塚



●新校舎西門側



平成 25年
(2013)

- 創立百四十周年記念行事「お餅つき大会」開催 (二月)
- 神奈川フィルハーモニー管弦楽団演奏会開催 (三月)
- 家庭科室上下水道改修工事 (三月)
- 児童会による創立百四十周年記念実行委員会立上げ (四月)
- 創立百四十周年記念シンボルマーク決定 (五月)
- 創立百四十周年記念行事「夏祭り・盆踊り」大会開催 (七月)
- 初の学校・地域合同の防災訓練を実施 (八月)
- 創立百四十周年記念行事「音楽祭」開催 (九月)
- 学校司書配置 (十月)
- 創立百四十周年記念行事「式典・祝賀会」開催 (十一月)

- ・ 杉田地区センターの開館以来の入館者二百万人達成 (六月)
- ・ 「MARK IS みなとみらい」に、大自然超体感ミュージアム「オービー横浜」開業 (八月)

- ・ 異常気象によって、桜の開花が早まる (三月)
- ・ アベノミクス効果の景気回復に国内外で注目 (四月)
- ・ 富士山、世界遺産に登録される (六月)
- ・ 参院選に自民党勝利、衆参両院の「ねじれ」解消 (七月)
- ・ アルゼンチンのブエノスアイレスで開かれた第125次IOC総会において2020年の夏季オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定 (九月)

●校名の由来

杉田小学校の前身「森田学舎(しんでんがくしゃ)」が明治6年5月、久良岐郡森中原村願行寺内に創立された。学舎名は森村の「森」と、杉田村の「田」を組み合わせたと言われている。当時、二つの村名を半々に組み合わせるのは、珍らしいと言われた。

その後、昭和2年に横浜市に編入され、「横浜市中原尋常高等小学校」となり、昭和4年9月、現在の位置に四度目の校舎建築が行われ、杉田町に移転したので、横浜市杉田尋常高等小学校と改称された。

●校章の由来 制定日(昭和4年11月12日)

考案者：佐野 武男氏(当時杉田小学校教員)

意味：当時、海岸近くに学校があったので、それを象徴して波を表わし、梅花は往時有名だった杉田梅林の梅の花を波の上のせて表わした。

由来：この年、木造二階建校舎941.25坪(3106㎡)が新築落成して、校名も横浜市中原尋常高等小学校だったが、変更されて横浜市杉田尋常高等小学校と改称された。それを記念して制定されたものである。

(この時の校舎は、昭和30年2月の火災により大部分が焼失する)

●校旗の由来

制定日(昭和13年10月)

創立以来、応援旗のようなものはあったが、現在の校章入り校旗は、昭和13年10月に、当時の後援会長原田辰蔵氏の寄贈によるものである。この校旗は杉田八幡宮宮司のお祓いを受け、全校生徒で出迎え、校旗拜戴式を行なっている。

●校歌の由来

制定日：昭和25年10月15日

作詞者：福田 正夫氏

作曲者：松井 健祐氏

昭和25年9月、本校職員とPTA役員とで校歌作成委員会が設置された。

元本校後援会長の岡田由蔵氏が、小田原在住の詩人、福田正夫氏と神奈川師範学校の同窓の間柄であったので作詩を依頼。福田氏は快諾され、本校を訪れて希望などを聞かれ、一週間ほどのスピードで書き上げられた。作曲は、当時、市教委で、音楽担当の指導主事をされていた松井健祐氏があたり、9月26日作曲完了、10月15日運動会当日に校歌披露を行う。

●校名の変遷

明治6年5月不詳 : 森田学舎(正式名称「第一大学区神奈川県管内第七中学区五十番小学森田学舎」)

明治8年6月29日 : 第一大学区神奈川県管内第七中学区五十番小学森中原学校

明治9年不詳 : 第一大学区神奈川県管内第七中学区五十番小学公立森中原学校

明治13年不詳 : 公立森中原学校

明治20年4月 : 尋常森中原小学校

明治25年4月1日 : 久良岐郡屏風浦村立尋常森中原小学校

明治37年4月30日 : 久良岐郡屏風浦村立尋常高等森中原小学校

大正12年4月1日 : 久良岐郡屏風浦村立森中原尋常高等小学校

昭和2年4月1日 : 横浜市中原尋常高等小学校

昭和4年9月1日 : 横浜市杉田尋常高等小学校

昭和16年4月1日 : 横浜市杉田国民学校

昭和22年4月1日 : 横浜市立杉田小学校

●表紙の絵画

制作者：間邊 典夫氏(磯子区文化センター理事)

創立140周年記念誌の為に、杉田の「梅」と「海」をモチーフに制作をお願いし、表紙用絵画としてご寄贈して頂く。対岸は、現在の本牧・根岸方面。

●表紙の書

制作者：野村 清一氏(わくわく杉田ワールド実行委員長)

創立140周年記念誌の為に書の制作を頂き、表紙用書としてご寄贈を頂く。雅号は「旭秋(きょくしゅう)」。

雅号とは、文人・画家・書家などが、本名以外につける風雅な名のこと。

●参考文献及びDB(データベース)情報サイト

創立100周年記念誌「この遠き道」、創立110周年記念誌、創立120周年記念誌、創立130周年記念誌

杉田小学校保管文献、梅林小学校創立50周年記念誌、個人保有文献、Google 地図、Wikipedia、他関連 Web サイト